



十和田市立中央病院

病院ニュース さわらび

平成 30 年新春号



新年の挨拶



親切は人の為ならず

十和田市立中央病院
病院事業管理者

まつ の せい き
松 野 正 紀

明けましておめでとうございます。

皆さん良い新年をお迎えのことと思います。昨年は沢山の若く優秀なドクターの参入がありましたので、当院も仕事が少し忙しくなってきました。看護局をはじめ、各部門で早め早めに対策を講じ、上手く凌いできたところでしょう。大変ありがたいことです。この状況が今年も続くことを期待したいと思います。

当院はこの地域の中核病院であり、病院としての資格、機能は概ね有していますが、欠けている資格の一つに「地域支援病院」があります。この認定を受けるためには青森県では産科の開設と紹介率、逆紹介率の基準値をクリアすることが必要です。産科のオープンが管理部門最大の突破目標です。それに合わせていつでも認定がもらえるように、紹介率、逆紹介率をクリアできるよう早めに対応していきましょう。

話は変わりますが、人はやさしくされるとやさしい気持ちになります。親切とか癒しも同じ様に人をやさしい気分させるものです。職場の雰囲気をよくするのは、お互いの親切的な気持ちが大切だと思います。それが働きやすい職場を作っていくことになります。

医療は究極の親切行為と認識していますが、その親切が患者さんだけでなくその家族、見舞客、同僚、消防など関連職種の方々にも向けられた時初めて完結するのだと思います。そのような心掛けが、院内の些細なトラブルを減らすことにつながります。

ことわざの理解に関するメディアの調査で、「情けは人の為ならず」の正しい意味を理解していたのは50パーセント程度だったという結果を見たことがあります。人に親切にしてあげば、必ず良い報いがあるということで勝手にこしらえた格言もどき、「親切は人の為ならず」を自らの今年のコトワザにしようと思っています。

